岩田病院では、以下の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する方で、本研究に関するご質問などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者様もしくは患者様の代理人の方が、この研究に用いられる試料や情報を使用することに、ご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、お申し出ください。その場合でも、患者様に不利益が生じることはありません。

また、一度ご同意いただきましたも、後日同意を取り消すことができます。下記の連絡先までお問い合わせください。ただし、研究結果がまとめられて公表された後は、個別のデータの削除ができませんのでご了承ください。

① 研究課題名	心理社会的リスクのある妊産婦における精神科既往歴別にみた支援状況と妊娠期から産後の EPDS 得点変化に関する研究
② 研究責任者	岩田 浩輔
③ 試料・情報を利用させていただく研究者等	郷 実保子
④ 研究の目的	精神科既往歴の有無は、周産期の精神的な不調と関連していることが指摘されている。当院の心理相談を受けられた妊産婦を対象として、精神科既往歴別にどのような心理支援がなされたか、また EPDS の得点変化にどのような傾向があるかを明らかにすることによって、より効果的な心理支援の在り方を検討することを目的とする。
⑤ 研究の方法（試料・情報の取得方法を含む）	「⑨研究対象者」を対象に、患者基本情報、治療情報、アンケート結果及び転機データをカルテレビューによって後ろ向きに収集する。
⑥ 研究に用いる試料・情報の項目	年齢、婚姻歴、出産歴、精神科受診歴、相談経路、相談回数、EPDS 得点、転機（保健センターへの連携の有無、他院への紹介の有無、産後ケア利用の有無等）
⑦ 院長が研究実施を許可した日	西暦 2025 年 5 月 1 日
⑧ 研究実施期間	研究実施を許可した日～2028 年 3 月 31 日まで
⑨ 研究対象者	2022 年 10 月以降に当院で心理相談を行った患者様
⑩ 個人情報の保護について	個人情報を識別できる記述等（名前、ID、生年月日、個人識別符号等）を削除または個人に関わりのない符号に置き換え匿名化する。対応表を作成し、必要な場合に当該個人を識別することができるようにしておく。用いる情報に要配慮個人情報を含む。対応表は研究責任者が管理し、研究終了後は下記により保管・廃棄方法に従う。

	<p>1. 情報の保管方法</p> <p>1) 紙媒体の場合は、院内の施錠可能な場所に保管し、院外に持ち出さない。</p> <p>2) フラッシュメモリの場合は、院内の施錠可能な場所に保管し、院外に持ち出さない。</p> <p>2. 情報の保管期間</p> <p>研究の終了・中止について報告された日から5年を経過した日または研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とする。</p> <p>3. 情報の破棄方法</p> <p>1) 紙媒体の場合は、シュレッターによる裁断、溶解処分、焼却処分として、解読不能となるようにしてから破棄する。</p> <p>2) フラッシュメモリの場合は、切断、破砕、粉碎など物理的に破棄する</p> <p>研究結果を公表する際にも、個人を特定することのできる情報は含まれない。</p>
⑪ 外部への試料・情報の提供	なし
⑫ 問い合わせ先	<p>所属：診療部</p> <p>氏名：郷実保子</p> <p>電話番号：052-451-1552</p> <p>※月・木曜日 9：00～13：00</p>

初回作成日： (西暦) 2025年 5月 1日 (第1版)

改定日： (西暦) 年 月 日 (第 版)

改定日： (西暦) 年 月 日 (第 版)